

めぶき東アジアレポート

MEBUKI EAST ASIA REPORT

2025年 No.4

香港通信

～香港スタートアップ市場と進出メリット～

東アジア駐在員コラム

～上海レゴランドリゾートがオープン～

ニューストピックス

～中国の電気自動車（EV）充電設備～

ニュース一覧

香港通信

～香港スタートアップ市場と進出メリット～

- ▶ 香港では、2024年においてスタートアップ企業数が過去最多を記録しました。
- ▶ 今回は香港スタートアップ市場の概要や、スタートアップ企業からみた香港進出メリットについてレポートいたします。

香港スタートアップ市場

(1) 市場動向

2024年の香港のスタートアップ企業数は過去最多となる4,694社となっています(図1)。2020年から2024年にかけて約40%の伸びをみせており、政府によるイノベーション促進施策やインキュベーション支援が寄与したものと考えられます。また、スタートアップ企業への就業者は17,651人に上り(図2、2020年比65%増)、新たな雇用機会の創出という役目を果たしています。

これまではフィンテック、情報コンピュータ技術、eコマースといった分野が香港のスタートアップ業界を盛り上げてきましたが、最近では医療・健康・福祉分野での資金流入が活発であり、大きな期

待が寄せられています。

(2) 起業家の出身国

起業家を出身国別にみると、全体の約67%を香港出身者で占めており、香港以外では中国本土が約17%、続いて米国約14%、また日本は約2%と全体の12番目に位置しています。

香港進出のメリット

(1) シンプルな法規制・低税率

2024年度世界経済自由度ランキングにおいて、香港は1位にランクインしており(2022年まで28年連続1位、2023年1位はシンガポール)、特に同ランキングの評価項目5つの中で「通貨の健全性」、「国際貿易の自由度」、「規制」について高い評価を得ました。

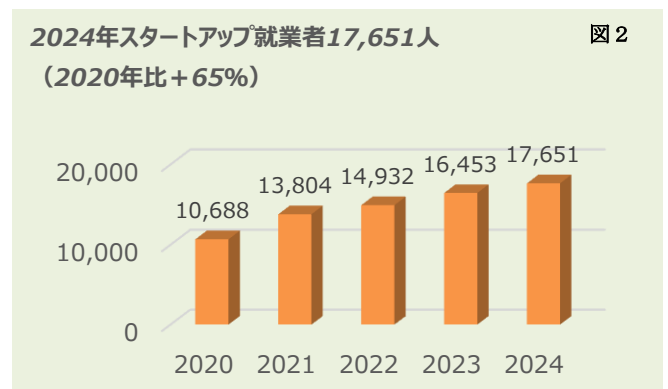
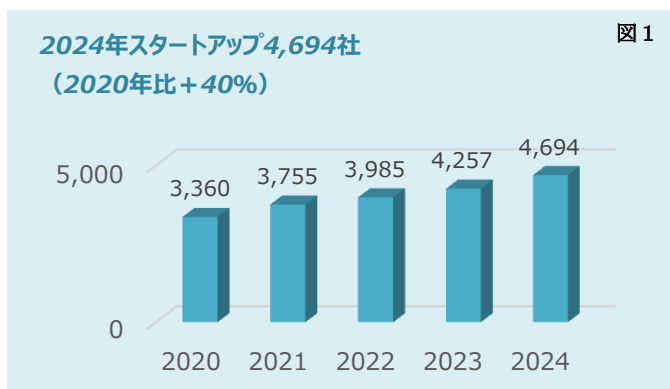
現地法人設立における会社登記はオンライン申請が可能で、費用

も約7万円と安価です。またシンプルな法規制に加え、低税率と簡素な税制は香港最大の魅力とされています。特に法人税については16.5%と低税率で、かつ200万香港ドル(約3,800万円)までの課税所得に対しては8.25%であり、スタートアップ企業や小規模事業者目線で見ても、かなりのインセンティブと考えられます(図3)。

(2) 世界有数のIPO市場

香港市場におけるIPO(新規株式公開)資金調達額は、2025年上半期(1～6月)で1,000億香港ドル(約1兆9,000億円)を超えています。2025年通年ではIPO資金調達額において香港市場は世界1位になる可能性が高く、海外投資家が注目している市場と言えます。

【香港のスタートアップ企業数と就業者】



【香港の税率】

| 法人税 | | 非課税 |
|---------------|----------------|-----------------------------|
| 16.5% | 8.25% | ・付加価値税、消費税 |
| HKD200万超の課税所得 | HKD200万までの課税所得 | ・キャピタルゲイン税、相続税、投資による源泉徴収税ほか |

(3) 74種類の補助金制度

2025年1月時点で、香港政府が提供する補助金は74種類に及びます。2020年からは、「SME ReachOut」と名付けられた専門チームを結成し、外資系含むスタートアップ・中小企業との面談を通じて、事業展開に適した補助金制度を案内するなど個別にサポートしています。

(4) スタートアップ企業への支援策と助成制度

香港のスタートアップ企業支援において、政府系イノベーション促進機関である香港サイエンスパーク（以下、HKSTP）が重要な役割を担っています。当機関では、入居要件・審査を通過した企業ごとにメンターが付き、事業展開における様々なアドバイス（①ファイナンス・補助金活用、②法務・会計・知財保護専門家紹介、③現地大学との連携による博士・修士人材の採用等）を得ることができます。また、「起業」→「成長期」→「海外進出」のステージ毎に助成金（図4）を設けているほか、入居1年目の家賃免除（2年目以降は半額）や展示会参加、メディア発信の機会、ビジネスマッチングなど

当機関による支援・助成は多岐に渡ります。

注目分野～ヘルスメディカル～

(1) 東北大発スタートアップ

2024年時点の高齢者率約23%と世界でも有数の高齢社会である香港では、医療・健康・福祉分野への関心が非常に高く、同分野でのスタートアップ企業の進出や資金流入が活発です。日本からは2020年に東北大発の(株)Cog Smart が香港へ進出し、脳MRI画像解析サービス「BrainSuite（ブレインスイート）」の普及を狙うほか、デジタルセラピューティクス（疾病治療・管理・予防ソフトウェアプログラム）の研究開発を進めています。2050年には中国が高齢者率約28%に到達するとされており、当社は将来的に中国への参入も見据えています。

なお、当社はHKSTPの助成制度を活用し、研究開発費として最大で600万香港ドル（約1億1,400万円）の補助が受けられるプログラムに採択されました。

(2) 香港政府の政策

香港政府は2023年の政策演説において、「香港を国際的なヘルスメ

ディカルイノベーションハブ」にするというビジョンを打ち出しました。その具体策として、2024年に導入された「1+」と呼ばれる新薬承認メカニズムが挙げられます。これは、従来2つの海外認証を必要としてきた新薬承認プロセスを、1つの海外認証とローカル臨床データで承認できるプロセスに簡略化するもので、これにより世界で導入されている最先端の治療を迅速に受けられることに繋がりました。このように、今後も同分野のイノベーションが更に加速していくことが期待されています。

まとめ

香港をはじめ東アジアは他のアジア地域に比べて高齢者率が急速に進行しています。そうした状況を踏まえると医療・健康・福祉といった分野は多様なニーズが潜在し、今後も関心が高まり続けると予想されます。特に中国という巨大市場にビジネスチャンスを見出すことができれば、同分野に限らず、香港への進出はより可能性を秘めたものになると考えます。

足利銀行香港駐在員事務所
鶴見 圭史

【香港サイエンスパーク（HKSTP）による資金調達制度】

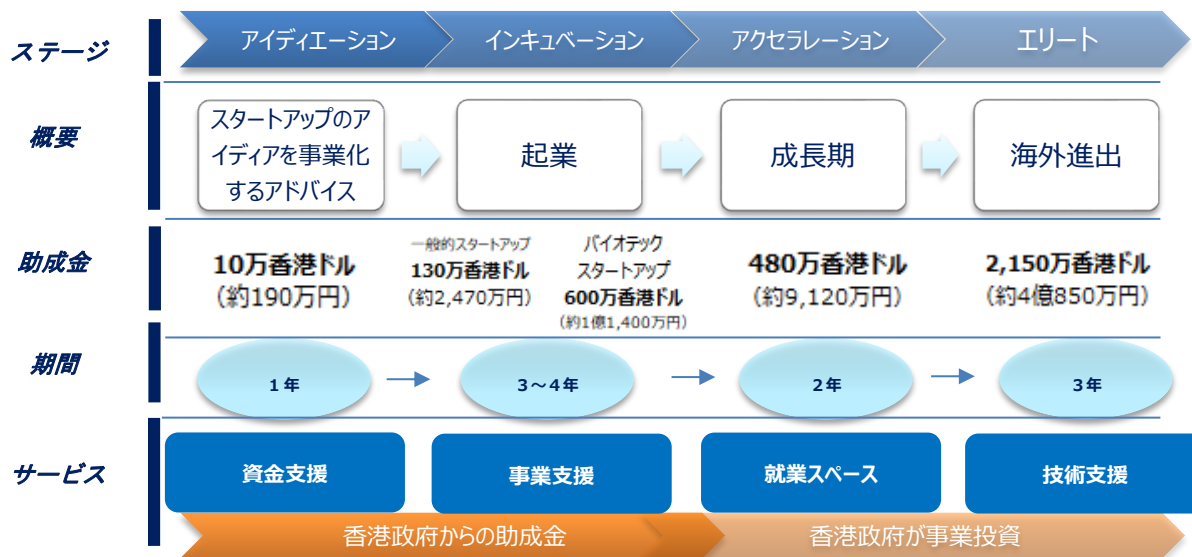


図4

東アジア駐在員コラム

～上海レゴランドリゾートがオープン～

中国で初となる上海レゴランドリゾートが、7月5日にオープンしました。ここは2～12歳までの子供たちとその家族に向けて設計されたテーマパークです。園内にはレゴブロック8,500万個以上を使って作られた作品が2,889個も設置されているほか、プレイコーナーやアトラクション、ショーも楽しめるので、今や随一の人気スポットになっています。

入口をくぐると、色とりどりの建物、可愛いキャラクターなどが所々に見られ、まるで童話の世界のようです。エリアは八つに分かれており、その中でも一番魅力的なのがレゴモンキーキッドです。そのヒントは中国古典文学「西遊記」に由来し、悟空の世界に入り込んでアドベンチャーボードで龍宮を冒険したり、悟空が登場する人形ショーを楽しんだり、常に多くの来場者で賑わっています。また、上海ならではのミニランドも大人気です。レゴブロックで再現した壮大な上海と長江流域の風景を楽しめます。まるで本物のように精巧でとても見応えがあります。

子供たちが遊べるコーナーもたっぷりあります。レゴキャッスルではドラゴンコースターや魔法使いの乗り物でスリリングな時間を過ごせます。レゴニンジャゴーでは人気アニメを体験しながら実際に体を動かせるなど、アクティブ感満載です。私の子供が一番好きなのは、レゴシティの職業体験コーナーです。ここでは運転学校や救助訓練等を体験して、未来の職業を楽しめます。さながら中国版キッザニアといったところでしょうか。もちろん、レゴブロックを楽しめるコーナーがたくさん用意されています。自分の想像力で自由に組み立て、そして動かすこともできるので、レゴ好きな子にはたまらないでしょう。

レゴランドはただ見て楽しむところではなく、創造力を育む知育性の高い魅力的な体験型施設です。ぜひご家族と一緒にレゴの世界を体験してください。

(常陽銀行上海駐在員事務所 現地スタッフ 続 蘇蘇)



<レゴランドの入り口>



<人気キャラクター「搭搭(ダーダー)」>



<室内ミニランドエリア>



<レゴモンキーキッドエリア>

ニューストピックス

～中国の電気自動車（EV）充電設備～

中国電動汽車充電基礎設施促進聯盟の発表によると、2025年7月時点の電気自動車（EV）充電設備は1,669.6万台（うち公共充電設備420.2万台、私人充電設備1,249.4万台）に達し、前年比で53%増加しました。背景には新エネルギー車（NEV）の購入が増える中、個人での設置が加速度的に増加していることがあげられます。地域的には上海市、広東省、浙江省、江蘇省などの沿岸地域や大都市に偏在する傾向があり、寒い地域や内陸部についてはまだまだといった状況ですが、国家を挙げて

のEV戦略とその浸透スピードは、驚きの一言に尽きます。一方で日本は、民間企業が主導で充電ネットワークの構築を進めていますが、その数は約4万台で、エリアは高速道路や都市部に留まるなど、充電スポットが十分とは言い難い状況です。

中国には「要想富、先修路」ということわざがあります。これは1980年代から90年代にかけて中国の経済発展政策の中で頻繁に用いられた言葉で、経済発展や富を得るためにはまず交通インフラ（道路）を整備することが重要という意味だそ

うです。現代のEV時代においても、この言葉が脈々と受け継がれていることを実感しました。



街に広がる充電設備

常陽銀行上海駐在員事務所
中村友宣

ニュース一覧

- ・車載電池 CATL は中間 33%増益、30 年に「全固体電池」大規模量産へ (8/1)
- ・蘇州で邦人殴られ負傷、日本は安全確保を要求 (8/4)
- ・商業ロケット基地「文昌航天城」、年間打上能力 60 回超に (8/7)
- ・ドローンの DJI、初の掃除ロボ発売 (8/8)
- ・吉利が 4 回目の人工衛星打ち上げ、累計 41 基 (8/12)
- ・エヌビディアが対中 AI チップ輸出許可取得、売上 15%を米政府に納付へ (8/13)
- ・恒大集団が上場廃止、16 年の歴史に幕(8/14)
- ・ホンダとのエンジン合弁会社、東風汽車が持ち株 50%すべて売却へ (8/19)
- ・中国の水素戦略が進展、実証から産業化へシフト (8/20)
- ・「iPhone17」生産ピーク、富士康の鄭州工場に求職者の列 (8/22)
- ・浙江義烏でクリスマス用品出荷が佳境、南米や EU に輸出拡大 (8/27)
- ・中国苦戦のテスラ、発売 1 カ月弱で「モデル 3」新バージョン値下げ (9/2)
- ・北京で「九三閲兵」軍事パレード、中ロ朝 3 首脳が初共演 (9/4)
- ・スマートウォッチ出荷、華為がアップル超え (9/5)
- ・優必選がヒト型ロボの大口受注、2.5 億元 (9/9)
- ・カンブリコンが 40 億元調達へ、AI 基盤強化 (9/11)

(出所 NNA・亜州ビジネス)

MEBUKIの海外ネットワーク
めぶきフィナンシャルグループ

めぶきフィナンシャルグループでは、お客さまの海外ビジネスをサポートさせていただきます。
常陽銀行、足利銀行の海外ネットワークをぜひご活用ください。

常陽銀行 上海駐在員事務所

所在地 上海市延安西路2201号
上海国際貿易中心1901室
電話 +86-21-6209-0258

常陽銀行
上海代表处
THE JOYO BANK, LTD.

足利銀行 香港駐在員事務所

所在地 Suite 1601, 16th Floor, Tower 2,
The Gateway, Harbour City,
Kowloon, Hong Kong
電話 +852-2251-9475

THE ASHIKAGA BANK, LTD.
HONG KONG REPRESENTATIVE OFFICE

常陽銀行 ニューヨーク駐在員事務所

所在地 1270 Avenue of the Americas,
Suite#555, New York, NY 10020
電話 +1-917-388-2400

THE JOYO BANK, LTD.
NEW YORK REPRESENTATIVE OFFICE

常陽銀行 ハノイ駐在員事務所

所在地 5th Floor, Sun Red River,
23 Phan Chu Trinh Street,
Hoan Kiem District, Hanoi
電話 +84-24-3218-1668

THE JOYO BANK, LTD.
HANOI REPRESENTATIVE OFFICE

足利銀行 バンコク駐在員事務所

所在地 689, Bhiraj Tower at EmQuartier,
27th Floor, Room No. 2714, Sukhumvit Road,
Klongton-nue, Wattana, Bangkok 10110
電話 +66-2-261-2852

THE ASHIKAGA BANK, LTD.
BANGKOK REPRESENTATIVE OFFICE

常陽銀行 シンガポール駐在員事務所

所在地 10 Collyer Quay, #09-07A,
Ocean Financial Centre,
Singapore, 049315
電話 +65-6225-6543

THE JOYO BANK, LTD.
SINGAPORE REPRESENTATIVE OFFICE



| 主な提携先 | 常陽銀行 | 足利銀行 | 提携先の主な業務内容 |
|--------------------|------|------|-----------------------------------------------|
| ● 日本貿易振興機構 (JETRO) | ● | ● | 海外事業展開に関する各種情報提供・各国制度等の情報提供 |
| ● 国際協力機構 (JICA) | ● | ● | 途上国での海外事業展開に関する各種情報提供・各国制度等の情報提供 |
| ● 国際協力銀行 (JBIC) | ● | ● | 海外展開支援融資の提供 |
| ● 日本貿易保険 (NEXI) | ● | ● | 輸出入取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供 |
| ● 中小企業基盤整備機構 | ● | ● | 海外事業展開に関する各種情報提供・各国制度等の情報提供 |
| ● 東京海上日動火災保険 | ● | ● | 海外リスク情報の提供、リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供、各種損害保険の提供 |
| ● 損害保険ジャパン | ● | ● | 海外リスク情報の提供、リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供、各種損害保険の提供 |
| ● 三井住友海上火災保険 | ● | ● | 海外リスク情報の提供、リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供、各種損害保険の提供 |
| ● セコム | ● | ● | 海外での安全システム・防犯機器商品の提供、海外セキュリティサービスの提供 |
| ● 総合警備保障 | ● | ● | 海外での安全システム・防犯機器商品の提供、海外セキュリティサービスの提供 |

| 国・地域 | 主な提携先 | 常陽銀行 | 足利銀行 | 提携先の主な業務内容 |
|--------|-----------------------------|----------------------------|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 東アジア | ● 中国 | 中国銀行 (中国) | ● ● | 中国に関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供 |
| | ● 台湾 | 交通銀行 (中国) 中国信託商業銀行 (台湾) | ● ● | 台湾に関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供 |
| 東南アジア | ● タイ | カシコン銀行 バンコック銀行 | ● ● ● | タイに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供 |
| | ● インドネシア | バンクネガラインドネシア CIMBニアガ銀行 | ● ● ● | インドネシアに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供 |
| | ● ベトナム | ヴァエティンバンク ベトナム外債投資行 | ● ● ● | ベトナムに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供 ベトナム関連セミナーの開催協力・ベトナム進出に関する各種支援・投資関連情報の提供 |
| 中米 | ● フィリピン | バンコ・デ・オロ・ユニオン メトロポリタン銀行 | ● ● ● | フィリピンに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供 |
| | ● インド | インドステイト銀行 パナメックス | ● ● ● | インドに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供 |
| ● メキシコ | アグアスカリエンテス州政府、 ハリスコ州政府ほか | ● ● ● | メキシコに関する現地市場情報・投資情報の提供 | |

Disclaimer

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。よろしくお願いいたします。

発行元：常陽銀行市場国際部

常陽銀行上海駐在員事務所

上海市長寧区延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 1901 室
TEL : +86-21-6209-0258
E-mail : joyosh@uninet.org

足利銀行香港駐在員事務所

Suite 1601, 16/F, Tower 2 The Gateway Harbour City, Tsim Sha Tsui, Kowloon, HK
TEL : +852-2251-9475
E-mail : hongkongrep@ashikagabk.com.hk